

第12回 労働政策の新たな動きと新しい働き方

○前回アンケートの質問・要望から：

◎今回の概要：

多くの先進諸国はこれまで労働規制を緩和しようとする政策が近年とられてきました。日本も例外ではなく、労働者の働き方を守る様々な政策や規制を「岩盤規制」と呼んで掘り崩そうとしています。しかしながら、最近では「働き方改革」と称して新たな労働政策が打ち出されようとしています。このような労働政策の変遷はどこから来たのか、またどのようにしようとしているのか見ます。さらに、新しい働き方についても考えます。

◎最近の2つの問題：保育労働と介護労働をみる (※この項目は前回未済分です)

○保育士問題

- ・待機児童、隠れ待機児童：保育士たりない・保育士のなり手がいない・保育士を辞めたい
- ・保育士配置緩和：現場、緩和に戸惑い、基準見直し危険、保育士負担増

○介護士問題

- ・介護職員不足：定着せず、平均勤続年数4割が3年未満：給与は低水準：高齢者施設で虐待最多
- ・介護は外国人が頼みの綱：入管法改正で介護福祉士への留学生急増

◎労働規制緩和と新自由主義政策

1973年の石油危機後、新自由主義原理の構造改革政策 労働市場における市場メカニズム発揮

1985年：労働者派遣法制定：民間職業紹介の規制緩和、男女雇用均等法制定

1995年：日経連の「新時代の「日本的経営」雇用流動化へ：真の狙いは、総額人件費の抑制

2001年：小泉構造改革：構造改革、労働分野の規制緩和、雇用流動化：日本的雇用慣行の転換

2009年：2008年リーマンショック：格差・貧困と構造改革政策批判、2009年民主党政権

2012年：第2次安倍政権：成長戦略：労働改革：企業の雇用維持から労働移動へ

雇用特区構想、解雇規制の緩和、労働時間規制の緩和、ジョブ型・限定正社員制度

◎「働き方改革」の進展とその内容：

○2016年の動き

5月：ニッポン一億総活躍プラン」大枠：働き方改革：

同一賃金同一労働・正規非正規の格差是正、長時間労働の是正、高齢者雇用の促進

7月：働き方改革の加速が経済対策の目玉に

7月10日：参議院選挙

8月：働き方改革議論始動へ：同一労働同一賃金・長時間の是正・非正規救済に軸足

9月：「働き方改革実現推進室」内閣官房に設置、「働き方改革実現会議」初会合・年度内計画策定

10月：首相と働く人達との意見交換会

11月：働き方改革 就労・消費拡大へ首相主導、格差・長時間労働の是正焦点

○働き方改革での主な課題：

同一労働同一賃金、長時間労働、非正規待遇、限定正社員、最低賃金、解雇規制、外国人労働者

○問題点：非正規・格差・長時間労働はどこまで解消されるのか

「同一労働同一賃金」が主戦場：同床異夢の同一労働同一賃金、定義あいまい

経済界は負担増警戒、賃金格差「欧州並みに」、欧州型の導入は困難：経団連提言

企業内に限定・企業間格差は容認：政府方針

◎新しい働き方

○雇用のない働き方

・もうひとつの経済：雇用・補助・寄付もなく仕事・労働をする：雇用なしで生きる

・時間銀行：M・エンデ「モモ」 ・物々交換・地域通貨・社会的連帯経済

・労働者協同組合：ワーカーズコープ・協同労働の協同組合 労働者自主生産

モンドラゴン工業協同組合、市民事業型協同労働

◎最近の新聞記事から

◎ビデオ

未来への提言 社会起業家 ビル・ドレイトン

～世界を動かすチェンジメーカー～

2008年5月25日 NHK BS1 約22分

◎参考文献

・西谷敏他『日本の雇用が危ない ―安倍政権「労働規制緩和」批判』旬報社、2014年

・伍賀一道他編『劣化する雇用 ―ビジネス化する労働市場政策』旬報社、2016年

・石水喜夫『日本型雇用の真実』ちくま書房、2013年

・斎藤慎『社会起業家―社会責任ビジネスの新しい潮流』岩波新書、2004年

・工藤律子『ルポ 雇用なしで生きる―スペイン発「もうひとつの生き方」への挑戦』岩波書店、2016

・石見尚『日本型ワーカーズ・コープの社会史―働くことの意味と組織の視点』緑風出版、2007年

◎次回の講義予定：

1月 6日：第13回：企業と雇用システム・まとめ1：日本的雇用慣行と非正規化

1月13日：第14回：企業と雇用システム・まとめ2：働きすぎと性別分業